

ifia/HFE JAPAN2021 アワード受賞7社を発表 群抜く製品・技術・PRで会場華やかに

受賞企業一覧

最優秀賞
伊那食品工業
製品力賞
三井製糖 FUTURENAUT
技術賞
キミカ 横浜油脂工業
ベストPR賞
オリザ油化 大正製薬

ifia/HFE JAPAN 2021のアワード受賞企業が最終日に発表された。首都圏でまん延防止等重点措置や緊急事態宣言が出されるなか、出展を決断した出展者全員が受賞に相応しいが、なかでも際立つて優れた7社が選出された。受賞常連の伊那食品工業、三井製糖、キミカ、オリザ油化が自立っていたのはもちろん、今年はFUTURENAUT、横浜油脂工業、大正製薬といったフレッシュな出展者の魅力も来場者の注目を集めた。

キミカ

キミカは、アルギン酸を中心には、基本的な物性、さまざまな機能性効果などを紹介し、あわせて多加水パン、植物性食品（代替肉等）、介護食など具体的なアプリケーション提案を行った。入り口近くに設置されたブースは、角度や経路など、感染症対策をしつつ入りやすいよう工夫が凝らされた。さらに昨年末に受賞した第4回ジャパンSDGsアワード特別賞「SDGsパートナーシップ賞」を掲げ、SDGsエリアにもあわせて出展、同社のアルギン酸製造技術そのものがSD

GS目標達成に合致していることをアピールした。

今回は出展



アルギン酸用途別に提案

SDGs貢献する技術

真や動画を用いてより詳しく説明を行った。人数は少ないながら、例年よりも技術的な関心を持つ来場者がブースに集まり、パネルや動画に見入り、説明を熱心に聴く来場者が多かったとのこと。特にプラントベースへの関心が高く、食感大きい」と語った。

SDGs目標達成に合致していることをアピールした。



貴重なマッチング機会に熱中

ifia/HFE JAPAN 2021



今年は特に目的意識の強い来場者が目立った

E	J A P A N	A F F I L A T E D	今年の JAPAN AFFILIATE
1	は「infia」が創る おいしさの世界	H F E	4人、最終日の14日は晴
2	が魅せる健康の未来」を テーマに開催された。来	天に恵まれ30008人と なった。コロナ禍により	510人、13日から25
3	場者の内訳は、12日が2	製品のお披露目機会や失 つていた食品素材メーカー	4人、最終日の14日は晴
4	1と、相次ぐ展示会や商	天に恵まれ30008人と なった。コロナ禍により	510人、13日から25

東京都では緊急事態宣言が出されているなかで、開催となったものの、3日間で80人以上入場者があった。コロナ禍で自都圏でも鑑賞を始めた出展者・来場者らの目的意識が高く、例年以上に充実した商談が行えたとの声が聞かれた。

有料セミナーでも活発な質疑

充実した「満足度高い」の声
商談多く

品発表会の中止により、製品の情報収集のチャ
ンスが限られていました。加
えて、食品メーカーの双方に
つて貴重なマッチング場
にならなかった。

ア＝OEM・受託アリヤ
「スポーツニュートリ－
ヨンエリア」の4エリ－
ヨンを設けた。SDGｓ工
アに設置された聴講室
のセッション会場では、
タンパク質の応用や安
全性や
供給
香料の安全性や
ステナビリティ、フー

アシニアリ定ドサ物検査、アレルギー対策などについて解説が行われた。SDGsに貢献する食品添加物などについて講演が行われた。

ミナルで行われた有料セミナーでは、T-1等、新たなタンパク質、穀物の衛生管理、悪化ストレス、コラーゲン・ラクトフェリン、減塩などをテーマにしたセミナーが開かれました。例年にもうす聴講者

JAPANは5月18日から20日の三日間、東京ドームで開催される予定。